

恵を育む“しまねの豊かな川づくり”推進事業 ふるさとの川ふれあい事業

清川智之・中村幹雄・山根恭道・向井哲也・松本洋典

内水面漁業の振興を図るためには魚等の生物に良好な生息環境を確保することが大前提である。これまでも当场では、水辺の教室等を通して、“豊かな川を守ること”の重要性について普及、啓蒙を行ってきたが、今年度からは漁業者のみならず、子どもたちや一般住民が川を通してふれ合い、河川環境保全の重要性について認識する契機としてもらうため、事業として実施することとなった（水産振興課事業）。

また、本事業以外に、別表に示した日時、場所、人数で“水辺の教室”（講師として参加）を行った。また、県民課（島根ふれあい県民運動協議会）の依頼を受けて水辺の教室で用いる小冊子（川はともだち）を編集した。

事業の概要

1. 実施日時

平成7年8月4日9時30分～5日12時00分

2. 実施場所

斐伊川・斐伊川水系三刀屋川河川広場・三刀屋町農村環境改善センター

3. 参加者数

小学生約100名、一般等200名程度

4. 水産試験場三刀屋内水面分場で担当した主な内容

- ・パネル展示……4つのテーマに分けて実施（斐伊川、生きている川、苦しむ川、かわづくり）。
- ・水辺の教室……稚魚（アユ、コイ、モクズガニ）の放流、魚や水生昆虫にちなんだおはなし、水辺の観察会、アユのつかみどり等。
- ・ミニ水族館……斐伊川に生息する魚の展示。

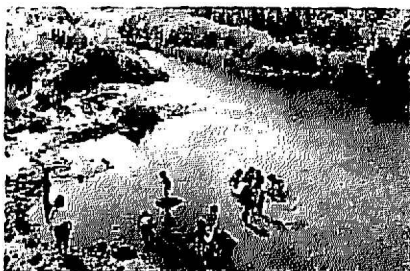
5. 本事業以外で行った“水辺の教室”開催状況

実施日時	実施場所	参加者数	対象者	実施主体
95. 7. 22	旭 町（八戸川）	約50名	小学生とその父兄	八戸川漁協
95. 7. 23	旭 町（八戸川）	約50名	小学生とその父兄	八戸川漁協
95. 7. 29	佐田町（神戸川）	約20名	小学生とその父兄	佐田町公民館
95. 8. 13	八雲村（意宇川）	約50名	小学生とその父兄	八雲村教育委員会
95. 8. 26	川本町（江川）	約100名	小学生とその父兄	県民課
95. 8. 26	松江市	約100名	小学生とその父兄	島根大学と共同
95. 8. 27	出雲市	約100名	小学生とその父兄	出雲市

6. 小冊子“川はともだち”について

小学校高学年の児童が楽しみながら理解できるような内容をめざした。主な内容は以下の通りである。

- ・はじめに（川で遊ぼう）
- ・川のように（川の特徴や島根県にある河川の説明等）
- ・川にすむ魚たち（川のどんなところにどんな魚がすんでいるか、魚のふしぎ等）
- ・川の中にすむ虫たち（水生昆虫の一生、特徴、泳ぎ方すんでいる場所等）
- ・水辺の生きもの（植物、鳥類、は虫類、両生類等）
- ・アユの一生、水生昆虫の一生
- ・川の汚れと生きもの（環境指標生物の種類と生息場所、身近な川を調べてみましょう等）
- ・生きものがすみやすい川を考えよう（すみやすい河川とすみにくい河川を写真で紹介）



みんな川が好き、川もみんなが好き。
だからいろいろな川のように、川にすむ魚や昆虫たち
など、川に関するいろいろなことを本にしてみました。
もっともっと川と、ともだちになってください。

「観察のてびき」

川はともだち

